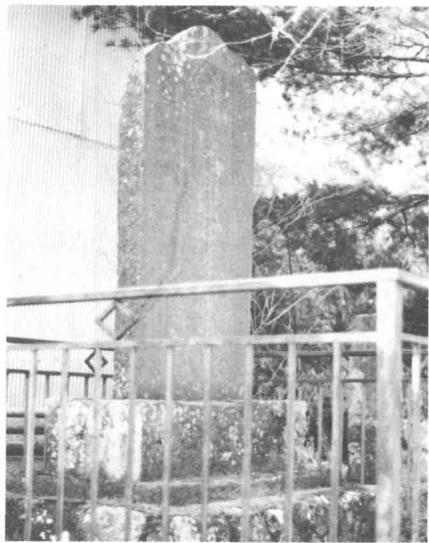


こうしてできあがった
約8.5ヘクタールの水田
は、日照りの年でも干害^{かん}
にあうこともなく、肥田^ひ
としてのちのちの人たち
に受けつがれてきました。



▲^{げんざい}現在の関岡・江戸塚^{つか}地内の水田



この工事が終わった8年後の明治35年
(1902年)8月には、村の人々は孫左衛門^いの偉
業に感しゃして疏水碑^{そひ}を建て、花火をあげ
てお祝いをしました。

この疏水碑は、関岡地内の国道118号線
と県道八槻・矢祭山線が交差する小高いつ
つみの上に建てられています。

◀関岡地内の疏水碑

(3)こんにゃくの生産

矢祭町の特産物の「こんにゃく」は、生産される量・品質ともに全国的に知ら
れています。こんにゃく^{かかく}の生産量は、年々ぞう加してきましたが、近ごろは価格
がやすくなったり、全国の生産量が多くなってきたりしたためにのびてきていま
せん。

今のようなこんにゃくの生産になったのは、生活を豊かにしよう^{かかく}とこんにゃくの
生産にはげんできた人々の、血の出るような長い間の研究と努力があったからです。

矢祭町にこんにゃくが作られるようになったのは、はっきりしませんが200年